

# iPad時代の英語教育

## —携帯情報機器（iPod・携帯ゲーム機・携帯電話など） を活用した英語学習の可能性—

糸山 昌己

### 1. はじめに

英語などの外国語の習得においては、個々の学習者の発達段階に合った言語材料と適切な言語活動を与えることが重要である。つまり、個々の学生のレベルに応じた指導が本来不可欠なのである。しかも、昨今の大学生の英語に関する能力の多様性を考えても、単なる一斉授業だけではそれは無理である。そこで、個別学習に向いているコンピュータなどの情報機器の活用でそれを補う必要性が出てくる。

### 2. 携帯情報機器の教育利用

インターネット上には英語学習サイトが数多く存在する。しかも、そのほとんどが無料で利用できる。一般家庭においても、インターネットの高速・常時接続がごく普通になり、インターネットを活用した本格的な英語学習が可能になっている。糸山（2005）では、英語学習サイトをいくつか取り上げ、インターネットに接続できるコンピュータさえあれば、場所や時間を選ばずいつでも効率的な英語学習（English e-Learning）が実践できることを述べた。現在では、インターネット接続も公共無線LANなどを利用すれば自宅や学校以外でも可能であり、それこそ、電車の中や公園など場所や時間を選ばずいつでもインターネットを活用した英語学習が可能である。

さらに、ここ数年、学習者が各々の能力、習熟度、興味に応じて自ら学習することが可能な様々な携帯情報機器が出現している。以下、そのような個別学習に向いている携帯情報機器の中で代表的なものを、教育利用といった観点から、いくつか取り上げていくことにする。

#### 2.1 携帯音楽（動画）プレーヤー（iPod）の教育利用

iPodなどの携帯音楽プレーヤーは、パソコンとの連携の手軽さ、容量の大きなハードディスクやメモリ、持ち歩くのに最適の重量と連続使用時間、購入しやすい価格などから、ただ単に音楽を再生する機器ではなく、学習用機器としても注目を集め、いつでもどこでもリスニング教材が聴けるということで英語教育などへと利用が広がっている。例えば、東京リーガルマインドでは、iPodの圧倒的な記憶容量を利用して膨大な講義を収録し、iPodクラスが開講されている。また、美術館では、展示作品ナビゲーションツールとして、各作品に関する作品説明や制作意図を企画者や制作者自らが手軽に編集し、その音声コンテンツの再生などにも利用されている。

さらに、ネット上の音声コンテンツを自動で取得するためのポッドキャスト技術による「ポッドキャスト（Podcasting）」の教育利用の可能性も大きくなってきている。

ポッドキャストとは、iPodなどの携帯音楽プレーヤーやパソコンで、インターネットラジオなどのネット上の音声を聞くことができる仕組みのことである。クリアな音声で、自宅や通勤途中など場所を選ばず聞けるため、英語学習にも最適である。また、お気に入りの番組を登録すると、更新情報を自分でチェックしなくても、自動的に最新データがダウンロードされるのも便利である。しかも、ポッドキャストは、インターネットの環境があれば無料で利用でき、また、必ずしもiPodを利用する必要はないので、使いやすい機器やソフトウェアなどが今後も登場すれば、確実にポピュラーな教育ツールとなると思われる。

この iPod のような機器の魅力はモバイル端末として時と場所にこだわらずに手軽に学習活動を支援できるところにある。当初は携帯音楽プレーヤーとして開発された iPod だが、現在では動画（ビデオ）も再生することができる動画対応の機種もあるので、ますます語学教育を中心に教育機器としてもおおいに有効な携帯情報機器になっている。上で述べたポッドキャストも、現在は動画（ビデオ）コンテンツも数多く発信されている。しかも、その多くが無料である。海外のコンテンツももちろん日本で利用することができる。英語等の語学学習に利用しない手はないであろう。

## 2.2 携帯ゲーム機（ニンテンドー DS）の教育利用

ニンテンドー DSは、ペン入力や音声認識機能といった直感的な入力インターフェースと、柔軟な無線通信により他の利用者と協調・競争を可能とするコミュニケーション機能を備えている。このため、単なるゲーム機とは異なり、ゲーム以外にも様々な利用の可能性を秘めている非常に高性能な携帯情報機器と言える。実際、このニンテンドー DSの機能に着目し、学習支援用の情報機器として位置づけ、英語の学習支援をはじめとして、自主学習や授業のサポートといった用途に着手している小学校、中学校、高校、短大、大学などが多数ある。

例えば、大阪電気通信大学では、平成18年度7月より、英語の授業において学生が楽しみながら効果的に学習できるように、学習用教材としてニンテンドー DSとそのソフトウェア「えいご漬け」を一部授業で導入している。

「えいご漬け」には、パソコン版のソフトもある。しかし、そのパソコン版の「えいご漬け」は、読み上げられた英語の単語や文章をキーボードを使って打ち込むというようなディクテーション(英語を聞いて書き取る学習)を基本とした仕組みになっており、英語力のアップも期待できるものであったが、タイピングしなければならないということで、英語の学習なのか、タイピングの練習なのか、よくわからないという側面があった。しかし、ニンテンドー DS版の「えいご漬け」では、ニンテンドー DSのペン入力ができるという最大の特徴を活用することによって、聞き取った英語をスタイラスペンで書き込み、入力していくことができるようになったのである。つまり、漢字の覚え方と同じように、英語でも何度でも繰り返し、聞いたり、書いたり（実際に、自分の手を使って書くということが一番大事であるが）することができるのである。

また、ディクテーションは、リスニングの基礎トレーニングに大変有益だが、ともすれば単調な作業となりがちで、継続が難しいのが現実であった。しかし、この「えいご漬け」では、何度でも聴き直すことができる上、書き取りした英文が即座に正解かどうか提示されるので、ストレスなくどんどん英語力をアップすることができるのである。さらに、ディクテーション力をチェックする「英語力判定」が用意されているので、練習の成果を日々確認す

ることができ、やる気を維持することができるのである。つまり、ニンテンドー DSとそのソフトウェア「えいご漬け」を使えば、楽しく集中して英語学習に取り組むことができるのである。

### 2.3 携帯電話 (iPhone) の教育利用

平成21年5月、青山学院大学の社会情報学部が、学部の全学生と教員にiPhone 3Gを配布すると発表して注目を集めた。同じ環境で学ぶ530人の学生と20数人の教員がiPhoneを利用することで、ライフスタイルやコミュニケーションがどう変わるかを研究するために導入を決め、すでに授業などでの活用が行われている。社会情報学部がiPhoneを導入した主な狙いは2つある。1つは、ICT (Information and Communication Technology) を体感的に理解するため、もう1つは、モバイルネット社会におけるライフスタイルやコミュニティのあり方を調査し、提案するためにiPhoneが必要と考えたからだとのことである。

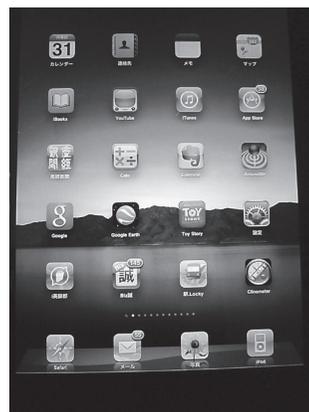
授業等での利用 (活用) では、授業資料の配布・閲覧、授業収録 (動画) の配信・閲覧、e-learningの活用、出席採取、授業時のアンケートなどが行われている。英語教育での活用としては、iPhoneはメモリ容量が大きく音声ファイルがたくさん入れられるので、学生はそれをiPhoneで聞いてディクテーションなどの学習を行っている。

このような英語学習などへの活用は、何もiPhoneでなくとも前述のiPod、あるいはiPhoneから電話機能を取り除いたiPod Touchでも可能である。しかし、iPhoneが一台あれば、どこでもインターネットへも接続でき、しかも、iPodと同じ機能を持っているので、当然上で述べたiPodの教育利用も可能である。

大学教育へのiPhoneなどの携帯電話 (スマートフォン) の導入には、コストや仕様など、さまざまなハードルがあり、新たなサービスやシステムがなかなか作られないなど、運用面でのさまざまな課題があるのも事実である。そのため導入に際しては、その目的と運用法をよく検討する必要があると思われる。

### 2.4 iPadの教育利用

2010年5月28日 (金) に高機能情報端末のiPad (アイパッド: アップル社のタブレット型コンピュータ) が発売された。アメリカでは4月の発売から100万台以上が売れるという人気ぶりだった。電子書籍を読むという機能以外の、インターネットによる情報検索や、映像・音楽の視聴、ゲーム、学習など、様々な活用が期待されている。遊び感覚で勉強でき、寝る前や電車の中での予習、復習なども可能な究極のマルチメディアマシンとも言えよう。今後、パソコン以上に教育現場で必ず普及するものと思われる。機能的には、上で述べたiPod (特にiPod Touch) やiPhone (3.5インチの画面) の大型判だとも言われるiPad (9.7インチの画面) だが、これまでに学習現場に導入されてきたニンテンドーDS、iPhone、iPod (iPod Touch) といった携帯情報機器では、画面が小さいことが授業導入への障害となっていたことも事実である。その点でも画面の大きなiPadな



ら様々な使い方が期待できそうである。とにかく、このようにワクワクするようなツールを教育や学習の場に活かさない手はないと思われる。

実際、学校法人博多学園では、2010年5月末より、博多高等学校の学生と教職員を対象に、iPadを100台導入し、電子書籍化された副教材を活用した新しい教育を開始している。この他に、学習の分野では授業や学習進捗管理などに利用したいという大学・高校も出てきている。今後はいっそう、教育現場での活用方法にも注目が集まりそうである。

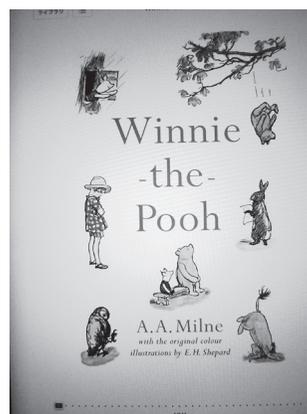
### 3. iPadで利用できる英語学習アプリケーション

以下では、iPadで利用できるアプリケーション（以下、アプリ）の中で特に英語学習に活用できるものをいくつか紹介していくことにする。

#### 3.1 電子書籍

##### (1) iBooks（電子書籍アプリ）

iPadの標準アプリケーションにiBooksという電子書籍を閲覧するものがある。美しい本棚でライブラリをブラウズしたり、本をタップして開いたり、スワイプやタップでページをめくったり、お気に入りの文章をブックマークに追加したりできる。内蔵の検索機能を使って、本に出てくる単語の意味を確認したり、単語、文字、またはフレーズの検索もできる。また、ページ内の単語の読み上げなどを実行できる。無料で楽しむことができる美しい挿絵入りの名作「クマのプーさん（Winnie-the-Pooh）」（A. A. ミルン著、英語版）が特にお勧めである。



##### (2) Jam's Story Time: Magic Hat（無料アプリ）

カラフルなイラストとネイティブの発音で、大人でも楽しめる童話アプリで、また、短い英文で分かりやすい文章で書かれているので、ストーリーを楽しみながら英語の単語を増やすこともできる。レベルは初級で、発音は標準的なアメリカンアクセント、ノーマルスピードで、一般的に使われる語彙が使われ、訳文テキストの表示・非表示の選択が可能である。

##### (3) Toy Story Read-Along（無料アプリ）

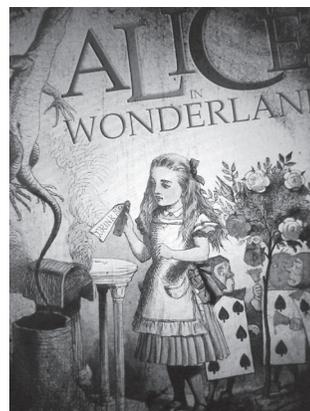
ディズニーアニメの「トイ・ストーリー」を基に作られた電子書籍アプリの一種で、英語のネイティブの発音が自然と頭に入ってくる。音声とともに色が変わっていく文字を追って読み進めていくことができ、英語学習にもとても有効だが、見たり、ゲームなどをするだけでも楽しいアプリである。無料アプリケーションの中で一番のお勧めである。

##### (4) 不思議の国のアリス（有料アプリ）

iPadの特色を活かした美しい挿絵とネイティブによるクリアな朗読で、聞き取りやすい。中級レベルの単語で書かれ、読みやすい文章になっているので、楽しく読み、聴きながら、「不思議の国」に引き込まれ、同時に単語力もリスニング力もアップできるアプリであ

る。難しい単語は、指先でタッチすれば日本語の意味も表示でき、また、確認のための単語診断クイズもある。

また、Alice for the iPad-lite（無料アプリ）という無料版のアプリでも、有名なテニエルの美しい挿絵が動いたりして、読書へのアクセントになっているので、挿絵を楽しみながら英語を読み進めることができる。時計を動かしたり、アリスの背を伸ばしたり縮めたり、ちょっと遊びながらアリスの物語を読み進めることができる。



### 3.2 コミック

#### (1) ダーリンは外国人 in English（有料アプリ）

原作のコミックエッセイ『ダーリンは外国人』を英語と日本語で楽しめるiPadアプリである。コミックエッセイ『ダーリンは外国人』をiPadで楽しみながら語学学習をしたい人にお勧めで、内容も、外国人の彼と結婚したらどうなるの？といった国際結婚したカップルの暮らしを描いたエッセイなので笑いと驚きがいっぱい話になっている。コミックなので会話がメインで、文章自体も長くなく日常会話で使われる表現がいっぱいなので英会話のテキストとしても使える。まずは内容を楽しみながら英語に触れてみるのが大切である。

#### (2) Twilight（無料アプリ）

『トワイライト』は、原作はステファニー・メイヤー著のティーン向け小説シリーズで、本国アメリカでは『ハリー・ポッター』シリーズに次ぐ大ベストセラーで、10代の少女を中心に絶大な人気を誇っている。このアプリはこの小説を基にグラフィックノベル化した、いわゆる少女コミック的になったアプリである。基本的に若者の日常会話の台詞なので、特に内容を知っていれば、無理無く読み進めることのできるものになっている。英語の台詞を自分自身のオリジナルの台詞にする、といったエクササイズなども可能だと思われる。

### 3.3 リスニング

#### (1) 英語耳トレ 女子大生ボイスブログ（無料アプリ）

カリフォルニア大学の現役女子大生がプライベートな日常を語ったボイスブログで、ヒアリング力の向上を目的とした英語教材アプリで、5～10分程度の英語スピーチを英語のキャプション（字幕）付きで再生する、シンプルなアプリである。自分が聞き取った英語を文字で確認できるので、「英語は読めるけどヒアリングが不得意」という人に最適である。字幕に切り替え、4つの再生モードを使って、自分の能力に合ったヒアリング練習を行うことが可能で、英語社会で通用する実践的なヒアリング能力を磨きたい人にお勧めである。内容も、料理とか、音楽とか趣味的な点で日本人と共通点があるので面白く、また、Gacktなど日本の歌手やバラエティなどの番組名が出てくるので興味を持って聞くことができる。

### 3.4 単語

#### (1) ボキャブラキング (無料アプリ)

アルクのPowerWordsをランキング付きの単語ゲームにしたアプリで、「めざせ英単語12000語マスター」を目指しながら英単語力を磨くものである。やり方は簡単で、単語の意味を見て、該当する単語が正しいスペリングになるようにアルファベットを順番にタッチするだけである。1単語正解するごとにスコアが加算され、終了時点でスコアを送信でき、全世界のユーザと競うことができる。何度でも挑戦できるので、高得点を目指して頑張ることができるアプリである。レベルは12段階で、入門から最上級レベルまであるので、好きなレベルにチャレンジできる。このアプリの最大の特徴は、間違えた単語の出題率を調整し、一定の正解率になるまで出題するスパイラル学習法になっている点である。苦手な単語はしつこく出題するので、いつの間にか覚えてしまうという優れたアプリである。

英単語アプリでは、この他に、多種多様なエクササイズがあって面白く学習できる「英単語は覚えるものじゃない!」や基本的な英単語から学習ができる「Smart.fm英語学習アプリ」などもお勧めである。また、この他にも英会話アプリの「英会話8秒」「Real英会話」「えいご上手」などもお勧めアプリである。

### 4. おわりに

本論では、新しい情報機器を活用した教育のあり方、特に、携帯情報機器を活用した英語学習の可能性を見てきた。iPod・携帯ゲーム機・携帯電話などの携帯情報機器の普及で、時と場所を選ばずにインターネットや学習ソフト・アプリを利用することができる環境が整い、通学途中でさえも英語の学習を行うことが可能になっている。特に、携帯音楽動画プレーヤーのiPod (iPod Touch)、携帯ゲーム機のニンテンドーDS、携帯電話のiPhone、高性能携帯情報機器iPadなどの教育用機器としての可能性は非常に高く、中学校から大学などで実際に使用されてきていることも見てきた。本学の学生においては、携帯電話の所有率は高いが、iPodやニンテンドーDSなどを(英語)学習に利用している学生はほとんどいない。筆者は、通常の授業だけでなく個別に学生に携帯情報機器の有効性を示してきたが、機器の数などの制約もあり、学生へ学習の機会を十分に与えながらの検証を十分行うまでには至っていない。科全体など、まとめて、その有効性を学生に示すことができることが望まれる。今後は教室内外において、英語の学習がこれらの携帯情報機器を活用することによって、どのように英語学習の可能性が広がるのかを引き続き検証していくと同時に、その実践を試みていきたい。

### 【参考文献】

- 糸山昌己 2005. 「e-learning時代の英語学習」『東京成徳短期大学紀要』第38号、P. 17～25.  
糸山昌己・馬場哲生・大和田栄 1996. 「英語教育における人とコンピュータ」『東京成徳短期大学紀要』第30号、P. 11～26.  
糸山昌己・大和田栄 1999. 「インターネットと利用した英語教育の試行と研究」『東京成徳短期大学紀要』第32号、P. 1～18.  
鳥居隆司2006. 「iPodの教育への活用・実践そして可能性」『Computers&Education』第20号、P. 12

～ 17.

矢野耕平 2010. 『iPadで教育が変わる』毎日コミュニケーションズ.

山崎吉朗2008. 「e-learningを活用した語学学習の実践と学習効果検証」『Computers&Education』第25号、P. 24～29.

### 参考サイト

[http://www.osakac.ac.jp/ecip/ds/ds\\_english.html](http://www.osakac.ac.jp/ecip/ds/ds_english.html)

<http://www.sharp-ssp.co.jp/ds/>

<http://www.itmedia.co.jp/promobile/articles/0912/18/news004.html>